

# 旧軽井沢倶楽部の山荘 新築工事

## コンセプト

敷地は、自然豊かな軽井沢の別荘地、傾斜した地形に位置している。木々に囲まれた広大な敷地からは、正面に妙義山、眼下に旧軽井沢の街並みを望むことができる景観に恵まれた敷地である。

敷地へのアクセスは、敷地上部の道路のみである。元々の景観を損なわないように、道路から建物は、意図的に見下ろす位置関係、かつ、規模で計画している。また、木々に囲まれた山荘の気配を徐々にうかがえることを意図して、建物へのアプローチを迂回させている。

大きな切妻屋根で構成された建物は、高さを極力抑えることにより、平屋建てのような印象を与える。また、木造の上層と鉄筋コンクリート造の地下基礎の境には水平に縁を廻すことによって浮遊感を与えている。

1Fのパブリック空間は、切妻屋根の勾配をそのまま活かした片流れの大空間を構成する反面、主寝室等のプライベート空間は、人体スケールにおける心地よいスケール感に配慮している。

2Fには、ゲストルームとして和室を設けている。屋根の勾配の影響から、居住するために要求される一般的な天井高は確保出来ていないが、居心地の良い空間を構成している。1F、2F共に浴室を含め、外の景観を望める開口部の配置に配慮している。

建物は、全体的にシンプルモダンを基調としている。シンプルな空間に、アースカラーをベースに構成した色彩計画と、裸電球とガラスシェードだけで構成された原始的な照明器具と間接照明を配置する事により、くつろいだ雰囲気を作り出している。仕上材には、量産品の建材を極力使用しないことにも配慮し、外構石垣には、地元でよく使用されている浅間石を利用している。

夏の多湿、冬期の低温等、軽井沢独特の気候風土にも配慮した建物としている。

## 概要

所在地 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢字深山  
 主要用途 一戸建ての住宅(別荘)

## 設計施工

設計監理 株式会社 沖本初建築設計事務所  
 施工 笹沢建設株式会社

## 構造

主体構造 木造(上層)、鉄筋コンクリート造(地下基礎)  
 杭・基礎 鋼管杭基礎工法

## 規模

階数 地上2階  
 軒高 7,620 mm  
 最高高 9,987 mm  
 敷地面積 5,295.07 m<sup>2</sup> (1,601.75 T)  
 建築面積 119.50 m<sup>2</sup> (36.14 T)  
 延床面積 127.47 m<sup>2</sup> (38.55 T)  
 建蔽率 2.26% (許容: 20.00% 軽井沢町自然保護対策基準)  
 容積率 2.41% (許容: 20.00% 軽井沢町自然保護対策基準)

## 工程

工事期間 2011年9月～2012年6月

## 敷地条件

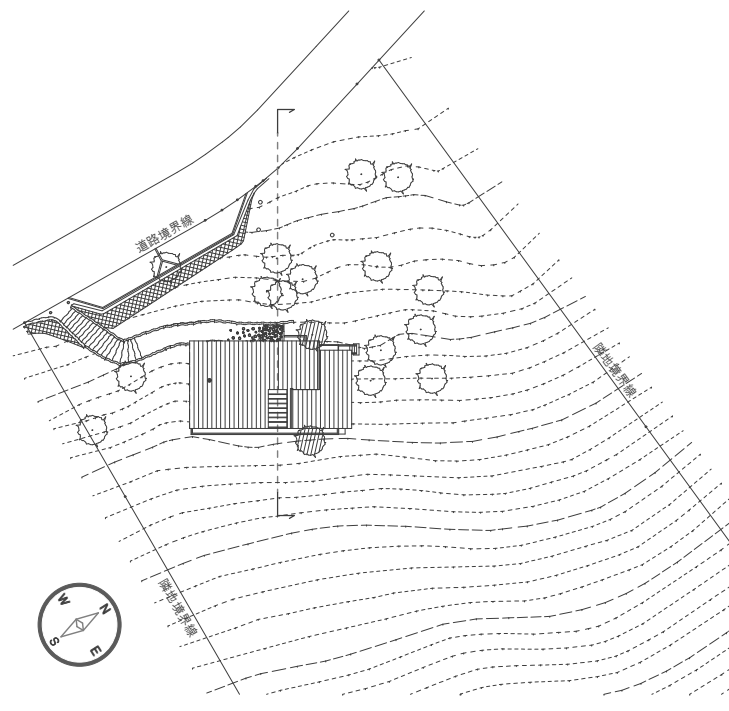
地域地区 第一種低層住居専用地域  
 道路幅員 西側 6.00 m(開発道路)

## 外部仕上

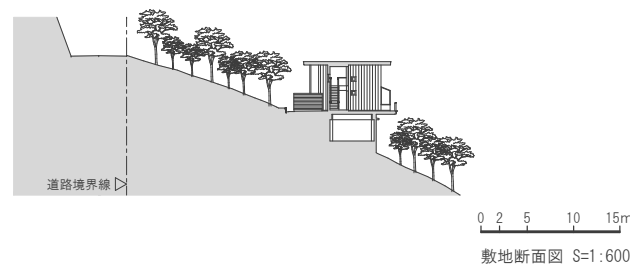
屋上 ガルバリウム鋼板 t=0.6 横葺  
 外壁 米杉 屋外用木材保護着色塗料塗  
 開口部 木製・アルミ複合サッシ 屋外用木材保護着色塗料塗、アルミサッシ

## 内部仕上

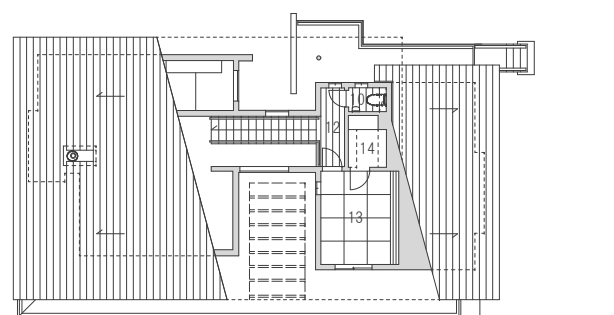
床 無垢フローリング貼  
 壁 PB t=12.5二重貼の上 アクリル系仕上材塗  
 天井 PB t=9.5二重貼の上 アクリル系仕上材塗



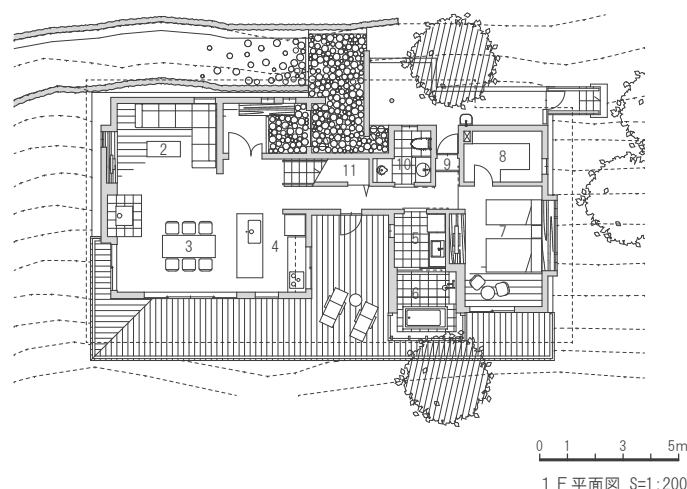
配置図 S=1:600



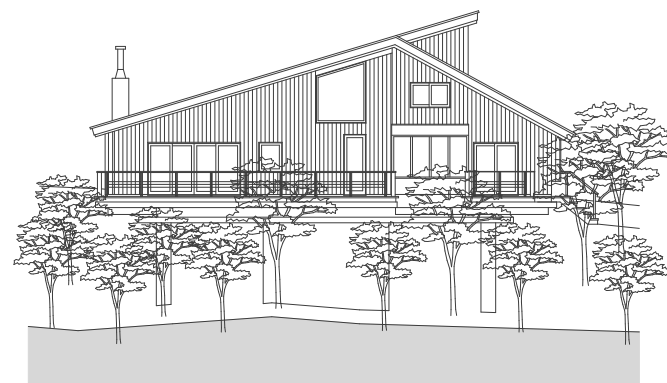
敷地断面図 S=1:600



2F平面図 S=1:200



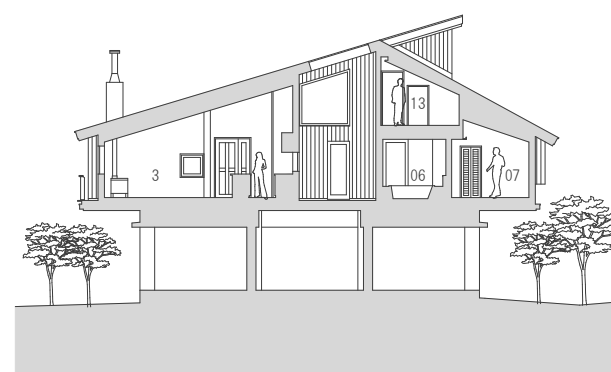
1F平面図 S=1:200



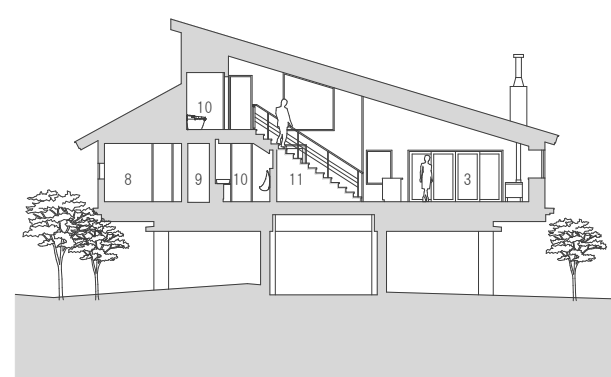
東側立面図 S=1:200



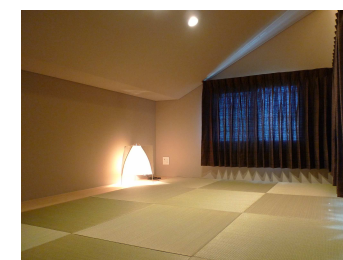
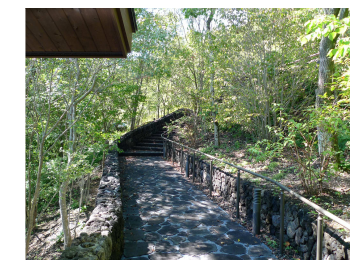
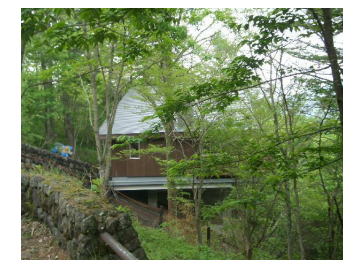
南側立面図 S=1:200



断面図 S=1:200



断面図 S=1:200



01. 玄関
02. リビング
03. ダイニング
04. キッチン
05. 洗面室
06. 浴室
07. 主寝室
08. WCL
09. 勝手口
10. WC
11. 収納
12. 廊下
13. 納戸
14. 押入



外観	
外観	アプローチ
13	浅間石垣
02	
アドレス	06 レイアウト